

今後の日本ダンス界の方向性について話し合う会

日時：2015年11月4日（水）

会場：ザ・プリンスさくらタワー東京2F

出席者：桜本和夫、鳥居弘忠、鳥居瑤子、中川勲、天野博文、天野京子、田中英和、毛塚鉄雄、山本千恵子、篠田忠、大村敦毅、橘正幸、橘弘子、千田修治、尾熊淳子、宮嶋秀行、清水寿恵、矢部行英、矢部浩子、海宝修、鈴木一郎、石原正三、渋谷透子、山本英美、長谷波陽子、尾上武襄、大竹辰郎、鈴木孝子、北条明、須田雅美、楠潤一郎、広瀬美代子、本田季久、篠田学、篠田雅子

議事録作成：横道明宏



【発言内容】

1. （中川勲）昨日は統一全日本ダンス選手権、皆様のおかげで素晴らしい成功裏のうちに終わることができて誠にありがとうございました。11月1日のライジングスターも3団体のおかげで成功を収めた。この機会に一本化した組織に戻したいとの思いでNDCJにて会議を重ね、結果としては、ダンス界の一本化が一番であるとの結論に達しました。賞金王を目指して、メディ

アに注目され、子供たちが憧れ、ダンス教室を目指すようになることを考えている。スポンサーであるバルカー工業様の力を借りてこの考えを前に進めていきたい。一本化について毛塚先生からお願いします。

2. (毛塚鉄雄) これまでに決まったことは、いままでの統一全日本、統一ショーダンス、統一10ダンス、統一ライジングスター、統一アマチュアの選手権以外に、アジアオープン、ギャラクシーマスターズ、JBDC から1つを加え7つの主催競技会を行うことが決まりました。
3. (中川勲) 7つの大会、アジアオープン、ギャラクシー、JBDC より1つ、さらに統一全日本、統一10ダンス、統一ショーダンス、統一ライジングスター、統一アマチュアを行っていくことが決まっております。2017年度からはNDCJの組織に参加する団体のすべてのオープン戦をNDCJにて行うことが承認されています。今日参加の方の中にはNDCJに参加していない人もいますが、疑問、質問があればどんどんお願いします。
4. (毛塚鉄雄) 今後の組織の在り方として、皆さんの意見をくみ上げて、ブレインストーミングを行い、それをまとめて考えていきたい。以前、江副さんからは「3団体が一緒になればスポンサーをやりたい」との言葉もありました。その他の選手権についてはまだ決まっていません。これからの世代の人の意見を聞きたい。
5. (中川勲) 毛塚先生の行き違いがありましたが、「2017年度よりオープン戦、選手権も順次NDCJにて開催することが決定した」との議事録があります。
6. (篠田忠) 私共では現在内部的にいろいろなことがありましてゴタゴタしており、それをまとめなくてはいけないと思っている。
7. (大村敦毅) 私も若輩者で組織では実行部隊になってはいないのですが、7大会をNDCJで行っていくことに賛成ですが、JBDFの内部はごたごたしており、NDCJでどんどん決められても対応できないので、待ってほしいと思います。
8. (橋弘子) 一つの方向に向かっていることはいいことと思います。このまま進めていく方向に賛成です。
9. (橋正幸) 昨日初めて、一緒に行くことを聞いて、どのように行うのか知りたくて今日の会議に参加しました。
10. (中川勲) それぞれの団体を尊重して、一本化の方向に向かっている。競技会は主幹に任せていく方向である。
11. (橋正幸) どんどん競技人口が減っている現状も考えて運営してほしい。
12. (中川勲) ダンスに対して魅力がないためか、教室に入会がなく、どんどん閉鎖していく中、それを只見過ごしていくのか、それとも我々が何をやるのか、の状況になっている。このような状況の中で、いま一本化の方向に向かっている。
13. (千田修治) その話を聞いていました。7つの大会を運営するのであれば、3団体にて実行委員会を立ち上げて進めてほしい。
14. (宮嶋秀行) こちら側が一生懸命行っても、選手会と連動できなければ何にもならない。また、団体が一つになると、それぞれの団体の選手が勝てなくなり、選手の商売にも響くので、選手の生活も考えてやっていきたいと思う。
15. (中川勲) 選手の生活は大切です。選手会の代表は今、神田にて会議中なのでそれが終わり次第、この会議に参加します。
16. (清水寿恵) 昨日の競技会に参加して、スポンサーがついて賞金が上がったことで競技会の雰囲気が変わったのを感じた。そのような競技会が7つに増えることはよいことと思う。選手会との連携も大切と思う。具体的なアイデアがもう少し出てきて、一本化に向かえばさらに良く

なると思う。ほかの競技会の賞金も上がれば、さらに良くなる。自分の選手時代、チケットノルマが大変だったので、その不安を取り除いてほしい。

17. (矢部行英) 初めてこのような会議に参加しました。ダンス界がどのように動くのか知りたい。他のスポーツの良いところも参考にして、既存の方法にとらわれずに新しい発想を持って運営してほしい。いろいろな諸問題がある。クラス戦の廃止、賞金をふまえたランク制の導入、のような新しい構造を、プロスポーツとして、興行団体としてダンス界がより発展する方向で行ってほしい。
18. (矢部浩子) 一つにまとまることは賛成です。他団体から JCF に移った時に、団体の違いを感じたが、一つになると、いろいろな先生が集まり、いろいろな話を聞く機会が持てたことはよかった。
19. (中川勲) 9 月にジャパンアマチュアリーグが立ち上がった。プロの一流の先生に審査してほしいとの理由。JDSF の参加ではなく、NDCJ のメンバーとして参加している。
20. (アマチュア会員つる) NDCJ で 7 大会を開催するところは望ましいことと思っている。アマチュアの参加者を増やすことに取り組んでいきたい。
21. (鶴田岬弁護士) 9 月までは東部総局のコンプライアンス委員会の委員長をしていた。今は解散している。今は大木さんにアドバイスしている。ジャパンアマチュアリーグは WDC のプロ審査員の審査を受けたがっている。法律的なこともさることながら、平成 2, 3 年ごろの日競連のころから携わっているので、少しは状況がわかるので、微力ながら尽力したい。
22. (中川勲) 以前は、日競連の中でプロもアマチュアも一緒にやっていた。現在は、アマチュアがアマチュアを教えている状況が増えてきた。今後は NDCJ にてアマチュアを育てていきたい。ジャパンアマチュアリーグを大きく育てていきたいと思っている。
23. (海宝修) NDCJ 管理委員として、まとまる方向に動いてきて、いまこのような方向になってうれしく思っている。自分の現役時代に分裂を経験して、同世代の選手と競う機会をなくし、唯一イギリスで競い合うのみになってしまった。昨日初めて、審査員と選手の意見交換会をしたが、その中でマーカス・ヒルトンの意見は「日本の中で勝ち抜いた選手しか世界に通用しない」とのことだった。選手が育つ環境を作ることが我々の仕事だと思っている。大きな競技会をいくつか日本の中で作っていきたい。会議の中で思うことは、JCF、JDC は意見の集約も早いですが、旧 JBDF は意見が遅かった。11 月 1 日の競技会はよくまとまった競技会だと思う。今回の競技会は非常に盛り上がり、ライジングスターは日競連の B 級戦を見るような、わくわくした競技会であった。
24. (鈴木一郎) 来年度より 7 大大会を NDCJ にて主催していくことに賛成です。現役時代を思い出すと、全英選手権大会のファイナリストであった自分の先輩たちにあこがれてダンスを始めた。競技会開催も大切だが、日本の選手の現状は世界で戦える選手が少ない状態なので、選手の育成、その選手にあこがれてダンスを始める状況を作りたい。
25. (渋谷透子) 7 大大会開催に賛成です。これからは選手のために、何がベストかを考えて行動したい。個人的な話ですが、石原正幸はプロの組織に興味を持てずに引退した。これから育っていく子供たちが、大人になってダンスを目指していけるような世界を目指していきたい。
26. (石原正三) 一本化には大賛成です。日競連のころはダンス界が盛り上がっていた。ダンス界の分裂により、選手の時にダンス界の衰退を予測していた。選手が甘い団体に行くことは、選手は弱くなる。そのような状況を作ったことにより日本ダンス界が弱くなってしまったと思う。大まかな意思統一ができれば、選手はそれに向かって真っすぐ進むことができる。一つ危惧していることは JBDC の東部総局の考えがよくわからない。JBDC 西部総局の意思はよくわかる。

- 選手会も NDCJ の方向に賛成していると思う。JBDC 東部総局の意思を知りたいと思います。
27. (中川勲) 今どちらに向かうかの話は、2つしかない。選択肢は WDC か、WDSF、しかない。他人のことをとやかくは言いたくない。それぞれが自分で選択していくことがよいと思う。あまり他団体のことをとやかく言うことはやめたい。それぞれが自分で選択をして、自信の道を行くことが大切と思う。それぞれの人の判断に任せたい。これは私の意見です。
 28. (山本英美) このような会議に出席したのは初めてです。このような方向に向かうことは大賛成です。私たちの人生は先生方にかかっているのです、宜しくお願いします。
 29. (長谷波陽子) J D C アマチュア委員会にて、アマチュアの方からの電話対応をしている。競技会の情報をよく聞かれる。アマチュアの方はパソコンを見られない方も大勢いらっしゃる。クラスが上がればその後どうなるかよく聞かれる。今後アマチュアの一本化を考えているのか、アマチュアのランクをどう考えるか聞きたい。
 30. (尾上武襄) 多くのチャンピオンが集まったの会議は初めてのことと思う。管理委員会に籍を置き、アマチュア問題が大切と思っている。今後アマチュア選手のブラックプール派遣等を考えている。現在クラス戦、シニア戦、グランドシニア戦がある。一般ダンス愛好家を取り入れないと、この組織はうまく動かないと思う。プロの話をして、後についてくる人がいなければ何もならない。良い形の指導者でありたいと考えている。
 31. (大竹辰郎) 現役のころダンス界が分裂し、その節は中川先生、桜本先生にお世話になりました。現在の状況を打破しなければいけないと思う。個人的にはすべて一つになることには必ずしも賛成ではない。既存の競技会を分かち合うのではなく、NDCJ にて新しい競技会を作り、マスコミに訴え、ダンス界を盛り上げていきたい。ダンス界からスターを出すために選手を育てていくことも大切。また、テレビ出演を通して、メディアにのるために、うまい選手だけではなく、カッコいい選手もいたほうが良いと思う。ダンスの成績ではなく、カッコいい男性、かわいい女性の選手でダンス界を盛り上げていくことも一つの手段だと思う。
 32. (中川勲) 何もないとことからスターを育てることはなかなか大変で、メディアに乗っかるほうが良いと思う。新しい競技会を立ち上げる考えはよいことだと思う。
 33. (鈴木孝子) 無理に団体が一つになるよりも、それぞれの団体が特徴ある協議会を開催し、選手が自由に選んで踊るほうが良いと思う。フェアジャッジに関して、「団体色にとらわれず、良い選手を評価していくこと」と言われ、そのことが非常に良かったと思う。海外審査員もその言葉を聞き「身の引き締まる思いだ」、と言っていた。そのことを言葉に出して、審査員会議にて声に出して言うことが大切だと思う。わかりきっていることだけれども再確認することが大切だと思う。そのことが世界で戦える選手を育てることに思えると思う。このような状況を作ってきたことは、われわれ OB の責任だと思う。
 34. (中川勲) 3 団体が別々に競技会を行ったのではスポンサーがつかないことを理解してほしい。統一だからこそスポンサーがついた。もしトヨタ社がスポンサーについたら、ダンス人口の 1000 万人がトヨタ社に興味を持つ。スポンサーになる価値があると思う。分裂した団体ではスポンサーはつかない。1000 万票あれば大きな力にもなり、政治家から大きなスポンサーも紹介してもらえる。メディアにも注目される。分裂状態では世間から注目されない。世間から見てダンス界が一本で動いている状況にする事が大切だと思う。
 35. (北条明) 団体がバラバラになってよいことは、団体が分かれたことにより、オナーダンスをやる機会が増えたこと。悪かったことは、マイアミに行って、「ここにサインしないと踊れない」といわれ、サインしなかったために踊れず、マリッジットに乗って帰ってきたこともある。統一全日本ができて日本の代表として踊れた。公正公平な競技会を開催して欲しい。

36. (中川勲) 今回、スポンサーより旗揚げは見た目がよくないからやめてほしいとの声があった。その代り、競技会終了後、審査員と選手の間で質疑応答の機会を一時間持った。そのような会を持つことにより、よい公明正大な審査になると思う。
37. (須田雅美) チケットが買えなかったので統一全日本を見れなかった。ダンスの競技会はチケット代が高額でもある。結果だけ聞いて、予想道理だった。予想ができることは、よいことでもあり、悪いことでもある。コーチ業と審査員業を同時にやっているのだから、自分がやってほしいことをやっている選手に、どうしても入れてしまいます。今はプロの話だけをしているが、一般の人は敷居が高いと感じているが、以前はどのように行っていたのか伺いたい。
38. (楠潤一郎) 一本化は我々の夢でもあり、良い事だと思う。アジアオープンの実行委員長をやっていた経験からも、良いコンペをやっていくことはよいことと思う。選手のために開かれた競技会を行っていくことが良いと思う。全部一本にすることはなかなか難しいと思う。実行委員会を通して交流を図りながら、良い方向に向かいたい。ダンス界の中で自浄努力を行い、世間にもアピールしていきたい。
39. (鈴木美代子) 昨日は素晴らしい競技会であった。会場に入った瞬間から、いつもと違い素晴らしい競技会を見ることができた。JBDFとか東部総局の話ではない。現役引退後1, 2年ブランクがあった時に団体が分かれてしまった。男性ばかりが役員になっているので、自分の勉強を続けてきた。今日この場に集まった方は、ダンスを本当に追及をしてきた人だと思う。私は憧れからダンスを始めた。誰に進められたわけではなく本人がやりたいと思って決めた。日競連のように一本化に向かっていきたい。アマチュアがいなければプロは成り立たない。いろいろな考えがあるが、憧れがありダンスを始める。一般の方も、憧れがあってダンスを始める。アマチュアの人もプロのジャッジに期待している。これらの事は正論と思う。ここまで水準が上がったものを、これからも世界を目指して頑張っていくことが大切。こちらから働きかければそれに答えるスポンサーもいると思う。微力ながらそれに向けて参加したい。
40. (本田季久) 全員ダンス界をよくすることに考えが一致していることは素晴らしい。過去の経緯はどうであれ、団体を一つにすることに頑張してほしい。アマチュアをどのようにダンス界に引き寄せるかももう少し考えてほしい。プロとしては、スターがいなければなかなか発展しない。アマチュアを優先的に考え、スターを若い人達の中から育てていかなければならないと思う。
41. (中川勲) アマチュアに関してはアマチュアリーグの人と進めていきたい。
42. (天野京子) 私も憧れからダンスを始めた。始めたころはダンス界が一つであり、何の不安もなくやってこられた事は幸せであった。今まで団体が分かれていたことが不思議なぐらいで、一本化の話は当然のことと思う。会社と同じで、一つにならないと下の者は安心してついていけない。寂しいと思うことは、それぞれの人がいろいろ思いながら一緒にやろうとしていない。これだけの力があれば、もっと前に素晴らしい組織ができていたと思う。ゆっくりやろうとしているが、このようなチャンスはそうないから、今までで一番良いダンス界を作ってほしい。
43. (篠田雅子) チケット完売で手に入らず、テレビで観戦しました。アマチュアで出場してからプロになり、日教連に入り、やがて団体が別れた。みんな、偉くなりたい人が多い。このような会が中心にならないといけない。チャンピオンはその力があると思う。定年制もいない。C、D級で落ちていた選手が他団体のA級になりそのような人は一つの団体になるのは嫌がっている。この問題も考えてほしい。
44. (篠田学) いつも目標を持ってやってきた。65歳で審査委員長を若手に譲り、70歳になり、常務理事、資格審議会も譲ってきた。今日は若い人の意見を聞きたい。競技会を一緒にやるこ

とはよいことだが、ダンス愛好者の減少、ダンス教室の減少、競技選手の減少をどうするか考えたい。ダンスを盛んにするにはどうするのか。「財団法人を乗っ取る気はないですか?」。現在、懲戒規定によって、懲戒してほしいと提出している。懲戒規定に反することを数多くやってきた。選手当時、柘岡選手委員長、私が副委員長、斎野先生でやっていた。当時はプロもアマチュアも一緒の選手会でやっていた。明治、大正の先生はプロの下にアマチュアとの考えでやっていた。そのことを変えるために JADA ができ、JDSF が出来た。何故、乗っ取らないか? といったのか。桜本先生、鳥居先生が常務理事でやっていたころはうまくいっていた。そのあと、学識経験者の理事とダンス界の理事がはいった。新しく入ったダンス界の理事がひどかった。西坂君、板垣君、内田君、その人たちから若手の人に譲り、いまの選手の人が引退してダンス界をリードする立場になればよいと思う。財団からの交付金の申請額は 1371 万円で、全額下り、財団法人として活動を行った。企業が公益財団法人に寄付をすれば無税です。一般法人では一般の会社と同じように税金がかかる。今の人にはみんな辞めてもらって、乗っ取って欲しい。世間にいかに PR するかの問題で、浅田真央、羽生譲、錦織圭等がいる。テレビも彼らに注目する。どれだけのダンス愛好者ではなく、一般の人が見たかが大切。トップクラスが大切であり、トップクラスをいかに作るかの、ジュニア養成システムが大切。20 年 30 年先を見据えて行動してほしい。当時は SA 会（スペシャル A を持っている人の会）があった。今後このような会を持ってほしい。

45. (中川勲) 違う角度から、乗っ取りの意見が出ました。もっとも簡単な一本化の道かもしれない。
46. (毛塚鉄雄) 競技会一辺倒ではダンス界は生き残れない。ブリティッシュ等世界の 4 大会に残る選手を育成することが大切。プロが生き残るためには、高等学校、中学に教えに行く、種まき人が必要だと思う。子供から養成しないと将来刈り取れない。子供が憧れるようにすることは大切。教師協会がそちらの分野に進出していくことが大切だと思う。
47. (鳥居弘忠) 篠田先生、素晴らしい意見をありがとうございました。現役引退後も、同じ時代に一緒に活動しておりました。自分たちの時代に分裂を起こしました。その当時のご無礼しました。この場になって暖かい空気が流れてきた。所詮、みんな仲間、元の状態の一本化にするべきといつも考えている。当時はダンス大国日本であり、ブラックプールのチームマッチはイギリスに次いで 2 位であった。強い意識をもって一本化に向かっていきたい。ダンス界の伸び悩みは分裂しているからとの声を世間の皆様からも伺う。真のチャンピオン、全国の選手を全て網羅した競技会の統一全日本は観客の見方も違うと思う。来年度から 7 大会を NDCJ にて開催することは決まっている。皆様と協力し合って、以前以上の組織を作るためにご協力を賜りたい。
48. (桜本和夫) 昨日の競技会に役員としてご活躍いただいた方々、お疲れまさでした。自分の我儘で JBDF を辞任し単独で NDCJ に入った。西部では若い世代として田中君がいる。JBDF に負けない、より良いダンス界を目指して、これからの人に愛されるダンス界を作してほしい。若いチャンピオン達に良い形でバトンタッチしたい。
49. (鳥居瑤子) 昨日は大盛況、昨年は最悪であった。昨年の状態にはなっていて欲しくない。二十何年も前に分裂し、時がたち、やっとな昔に戻ってきたと思う。バブル崩壊後、時代も変わり、元に戻り、今、絶好のチャンスだと思う。篠田先生ご夫妻にご参加いただき、ありがとうございました。
50. (山本千恵子) 分裂という言葉が、一番印象に残っている。張本人が隣に座っていますが、今、3 団体がまた一本化に向かっている。何とか素晴らしいダンス界を作してほしい。スポンサー

もついて賞金も上がった。進行に関しては、いままでのダンス界とは違っていて、良いところも悪いところもあったと思う。このことは、お客様の声を聴きたい。これからもよろしく願います。

51. (田中英和) 気持ちは皆同じだと思います。先輩諸氏の意見を聞き、報連相をしながら、実行部隊として一緒に頑張っていきたいと思います。
52. (天野博文) 今日はダンス界一流の方の集まりだと思う。皆様のお力を借りて、素晴らしい組織になるために出来る事からひとつづつ行っていきたい。
53. (中川勲) 皆様より素晴らしいご意見をいただきありがとうございます。篠田先生のおしゃっていたチャンピオン会をもう一度業界発展のために設置したい。
54. (篠田学) みんなの意見を反映して運営する。公益法人は大きな力があると思う。
55. (中川勲) 今後たびたびこのような機会を持ち、話を進めていきたい。チャンピオン会を発展させていきたい。篠田先生いかがですか。
56. (篠田学) 私は引退した身です。参加はさせていただきます。
57. (中川勲) 今後は、チャンピオン会の形を作り、度々このような会を催したいと思います。ありがとうございました。
58. 12 : 03 終了。